

幼小中一貫が進化から深化へ

本年度は、袋井あやぐも学園の「魅力ある幼小中一貫校づくり」の元年です。平成30年度と令和元年度は、「袋井あやぐも学園」の名称を決めたり、グランドデザインを策定したりして進化してきました。

袋井あやぐも学園 深化のための土台

- •校区教育目標:「夢を追い続ける子どもの育成」
- ■校区経営目標:「社会人としてのマナーを身につけ、主体的に行動する子どもの育成」
- ・同じ子ども観:「自己有用感」「主体性」を高める
- ・同じ方法:「聞く指導」「ボイスシャワー」

本年度は、みんなで話し合って創った「幼小中一貫カリキュラム」(裏面)が本格的に動き出します。





袋井あやぐも学園の取り組みが深化し、「1人の100歩より100人の1歩」で校区の絆が、さらに深まるはずです。

※袋井あやぐも学園のあゆみは、「デジタル職員室→掲示板→袋井中校区」の中にある「H28 魅力通信」「H29 新・魅力通信」「H30 真・魅力通信」「R1 進・魅力通信」をご覧ください。

×綴 う 人 然 ち の の 発 中 ュ レ

授業の中で「話す」「聞く」を大切にするととも 家庭学習を工夫することにより、主体的に学 習する態度を養う。 一条

授業 開います。

、 関く楽しさや大切さを感じ聞こうとする/ 楽しく話す

相手を見て聞こえる声で話? 相手を意識して聞く

相手の話を反応しながら聞く 相手にわかりやすく話す

相手の意見とつなげながら話す

相手を意識して聞きたくなる話し方で話?

相手の考えを引き出す聞き方で聞い

相手と自分の考えを比べながら聞く

楽しさ・家庭で一緒に 零

亭庫

田出

取組み方 (型・ルール) -H/E mia

3

4

=

5

授業とつなげて

外発的動機付け·内発的動機付け

のでは

依を動かすことを楽しむ子」を育てることを通して、良好な人間関係を築

から

益門

わがままをせず、

周りの友達と生活できる(個) 周りの友達と生活できる(公) わがままをせず、

体を動かすことを楽しむ

体を動かすことを楽しむ 「あそび」を通して

体を動かすことを楽しむ

「できた」を増やしながら

目標達成に向けて、考えながら 体を動かすことを楽しむ

自己の目標に合わせ、努力を積み重ね

るために体を動かすことを楽しむ

力や目標に向けて努力し続ける力を育てる。

首節

「静をつくる」<mark>「温をつくる」という</mark>活動を通

て、規範意識や思いやりの心を育てる。

自分や周りのものる

大切にできる

親切にすることができる

親切にすることができる

圏りの人に進んで

周りの人に

ルールに従って生活できる よく考えて行動し、

ルールに従い責任を持って生活できる よく考えて行動し

TPO (時·所·場合)

が表れ

引

相手の立場を尊重してマナーを守る

相手の立場や気持ちを考え 親切にすることができる 他の人に対し、親切にすることができる 問りの人に感謝の気持ちをもち

在心力

「働く喜び」や「住みよいまち」の視点で人のた めに尽くす力を育てる。

量 印印

自分でやる 自分のことを

自分から

仲間と協力して

問りのことを考えて働く

学銀や学校など

地域のために汗を流し 社会のために働く

進んで働く

5

住みよいまで

好きになる

身近な地域にふれる

身近な地域にふれ、

地域を知る

地域の良さる

見つける

自分たちに何ができるかを考える より良い地域を目指して

がは、

誰もが十分に力を発揮できる教育環境を目指し、 個別の教育支援計画 個別の指導計画 を活用することで、 児童生徒の自立力・社会力を育てる。